

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）関係事業の検証・評価結果													
No	交付対象事業 の名称	交付金 の種類	交付金実績額	本事業におけるKPI（重要業績評価指標）				自己評価		外部有識者からの評価		次年度以降の取組等	
				指標	事業開始前	実績値	令和6年度 KPI	事業の評価	担当課自己評価	事業の評価	外部有識者からの意見		
1	文化観光の推進とアー ティスト・クリエイター移 住・定住計画	デジタル 田園都市 国家構想 交付金(地 方創生推 進タイプ)	44,727,202円	指標①	アーティストやクリエイターの移住に関 する相談件数	- 件	76件	80件	基本目標を 達成するた めに、効果 があった。	指標①、指標②については目標値を下回ったが、前年度実績値と比べ ると指標①については76件増加の105件、指標②については6件増加 の36件ということで、引き続き数値が増加するよう取り組んでいきたい。 指標③については、目標を達成することができた。 (R3:参加人数25,576名(来場者数:10,970名、オンライン参加者数: 14,606名) (R4:参加人数15,542名(来場者数:10,966名、オンライン参加者数: 4,576名) (R5:参加人数18,650名(来場者数:13,058名、オンライン参加者数: 5,592名) (R6:参加人数43,154名(来場者数:36,501名、オンライン参加者数: 6,653名) 指標④については、昨年の20件から2件減となり、今後も引き続き件数 が増加するよう取り組んでいきたい。	基本目標を 達成するた めに、効果 があった。	・アーティストの方より、仕事がなくアートだけで生計を立てるのが難し い、何かしらアートを軸とした仕事がないと移住しづらい、という意見も 聞いている。B-biz LINKなりと連携してアーティストのマッチングや、地 元アーティストを使った仕事の創生を検討していただきたい。別府在住 アーティストのPRにもつながると考える。 ・重要業績評価指数について、何が悪かったのか、何を求められている のか、もう少し踏み込んだ整理が必要。その理由を一つずつ解決して いけば、移住者も増えるのではないかなと思う。 ・R6年度は100周年記念事業で大幅に事業費増えているということだ が、かなり金額が増えた中、このような達成度ということは、少し厳しいか と承知している。	令和7年度以降も、情報発信拠点「TRANSIT」において、世界中の人々に文 化芸術のまちとして別府市を認識させるための芸術文化情報発信事業を継続 して実施する。 令和7年度は、アーティスト・クリエイターによる別府の魅力発信活動事業を 実施する。
				指標②	アーティストやクリエイターの移住者数	120人	6人	40人					
				指標③	ベップ・アート・マンズの参加者数	27, 265人	24,504人	5,000人					
				指標④	アーティストやクリエイターと協働して生 まれた新規商品・サービス件数	- 件	18件	30件					
2	持続可能な温泉観光 都市への挑戦	デジタル 田園都市 国家構想 交付金(地 方創生推 進タイプ)	15,761,307円	指標①	宿泊客の平均宿泊数	1.09泊	1.106泊	1.14泊	基本目標を 達成するた めに、相当 程度効果が あった。	ユニバーサルツーリズム事業では、誰もが安心して訪れることができる 観光地であることをPRする動画を作成し、各種SNSにて情報発信を 行った。また、接遇研修やバリアフリー・カルテの作成等を実施すること で、受入体制の強化や認識の向上に繋げることができた。 温泉に関する検証を深め、別府ONSENアカデミアで発表した。 別府市公式観光ウェブサイトのアクセス数もKPI値をはるかに上回るPV 数が達成できた。 食×観光事業では、交流を深めた事業者と生産者が互いに知合いを 紹介して新たなつながりが生まれるなど、市の仲介なしにマッチングや 取引契約まで至ったことを後日知らされるような、自発的なネットワー クの広がりが見られる。	基本目標を 達成するた めに、相当 程度効果が あった。	・京都ではオーバーツーリズムがかなり深刻な問題となっている。海外 の方の長期滞在も一つの戦略と思うが、国内からの長期滞在客を招き 入れることが非常に重要。 ・別府は移動手段が悪く、なかなか外に出ていけない。社会に出ない 方が認知症になったり体を悪くしたりというデータが上がっているの で、できるだけ外に出す手段を考えていただきたい。クルーズ船について も、移動手段が本当になく、タクシーが拾えない、という意見を聞い ているので、別府のタクシーだけでなくどうにもならない時には、応援を 求めるなどして、観光客の方にはできるだけ別府観光をしていただきたい。	昨年度の取組を継続しつつ、各事業の向上を目指し取り組む。 また、引き続き温泉が与える好影響についての研究を深めるとともに、ウェル ネスツーリズムとしてのブランディングを図る。 食×観光事業では、農業者と事業者の交流については、参加者の評価が高 く、市の仲介なしに自発的なマッチングが生じるようなネットワークの広が りが見られる。農業者や事業者の声を聴き、自発的のマッチングが加速する ような取り組みを実施していきたい。
				指標②	別府・大分バリアフリーツアーセンター におけるバリアフリーツアー相談件数	32件	169件	200件					
				指標③	別府市観光ウェブサイトアクセス数	1,058,864 PV	3,916,277 PV	1,323,580 PV					
				指標④	ウェルネスツーリズム関連旅行商品の 商品化数	- 件	2件	2件					
3	持続可能な地域を目指 す中規模多機能自治 区形成事業	デジタル 田園都市 国家構想 交付金(地 方創生推 進タイプ)	8,453,389円	指標①	ひとまもり・まちまもり協議会交流事業 参加者数	1,700人	8,183人	933人	基本目標を 達成するた めに、非常 に効果的 であった。	[1]地域の担い手育成事業 三世交代交流事業等各種交流事業を開催や先進地視察研修等によ り、地域の「人財」発掘及び育成に寄与することができた。 [2]ひとまもり・まちまもり事業 デジタル推進事業、防災関連事業等をはじめ、地域の食や運動等 に着目したウェルネス事業等を実施し、地域課題の解決に向けて取組 を実施することができた。	基本目標を 達成するた めに、非常 に効果的 であった。	・大学生など若い方に地域活動に参画してもらえるような組織づくりを もっとやるべきではないか。地域と深いつながりができないから都会に 出て行ってしまふこともあるのでは。別府では昼間人口で約9000人、20 歳前後の方がいる。市政の中でもっと活用すべきと思っているので、今 後連携しながらぜひ協力できるところはしていきたい。 ・大学生については、学内で授業をやるよりは、街に出て何か課題を見 つけて解決したいという意識を持っていると思う。大学生を活用する といったことで、何か別府らしい事業ができればと思う。 ・KPIに関し、地域の担い手の育成事業について、地域の担い手を育 成している目的に対してのKPIならば、例えば大学生などターゲットに よって変わってくると思う。質的な部分で地域に残りたい人が動機として 増えたという設定が増えれば、この目的に対するKPIとして合ってい るのではないかな。今のKPIの部分だけ見ると、全体的なところに絞られ てしまつて本当に担い手が育成できているのか、指標としてそぐわない ような気もするので、そこの検討ができたらいののではないかな。 ・数値化で人のつながりを測るのは難しいと思うが、全国的にも自治会 の加入率がかなり低いと言われており、例えば自治会の加入率をKPIに 設定し、どのぐらい加わったとか、細かい内訳で20代が増えた、など設 定されると、数値化しやすいのではないかな。 ・KPIについて、R5年度に、達成度がかなり高い達成度になっている が、R6年度がR5年度と同じKPIが設定されている。この事前の目標値設 定のところについて、あまり高すぎるとそれは事前の設定が低いのでは ないかなといった指摘もされると思うので今後ぜひご検討いただきたい。	[1]地域の担い手育成事業 地域の担い手を育成するため研修会や交流会、コーディネーターの配置 [2]ひとまもり・まちまもり事業 ひとまもり・まちまもり協議会が地域課題解決のための取組を実施
				指標②	ひとまもり・まちまもり協議会交流事業 実施数	10事業	35事業	6事業					
				指標③	移住に関する相談件数	254件	111件	76件					
				指標④	BEPPUSポーターズのメンバー数(増 加値)	- 人	-15人	50人					
4	別府の食～給食×農 業×観光～高付加価 値化推進事業	デジタル 田園都市 国家構想 交付金(地 方創生推 進タイプ)	2,191,946円	指標①	農林水産業の担い手の確保数	36人	34人	39人	基本目標を 達成するた めに、相当 程度効果が あった。	農林水産業の担い手の確保数については、目標値を下回ったものの、 R5年度末時点より10人増加することができた。 学校給食の児童生徒満足度については、小学生は目標達成したもの の、中学生については目標値に届かなかった。 観光消費額については目標を大きく上回ることができた。 農林水産物の特産品化数については、R5年度より数が減ったものの、 目標を上回ることができた。	基本目標を 達成するた めに、相当 程度効果が あった。	・若い人の農業に対するイメージは、あまり儲からないというイメージが ある。別府産の農産物の消費額・生産額が上がったという事例があれば、 儲かる別府に進化している証拠となる。そこも踏まえて強調できたら、 APUはじめ大学生などにも農業という選択肢が増えてくるのではない かなと思う。 ・別府産の農産物を別府で加工してお土産品にするなど、安定して商 品を提供するための施策を進めていただきたい。 ・農業に触れる機会が少ないので、ボランティアを増やしていけたらよ いのではないかな。大学でもボランティアの情報があり入ってこないの かと思う。情報提供の機会を増やし、もっと人手を増やしていけたら 良いと思う。	さらに事業効果を出せるように、農業者や事業者の反応や評価を確認しながら継続して 取り組む。 また、学校給食においては、給食用食材の地産地消の推進については継続するが、仕 組みの構築が進み、参加している生産者の土壌改良も進んだことから、学校給食農家謝 礼金については終了する。
				指標②	学校給食児童生徒1人あたりの1日の 残菜量(※)	40g/1日・人	- g/1日・人	- g/1日・人					
				指標②	学校給食児童生徒の満足度(小学生)	89.0%	90.0%	90.0%					
				指標②	学校給食児童生徒の満足度(中学生)	86.0%	86.7%	87.5%					
				指標③	観光消費額	86,555百万円	139,485百万円	92,325百万円					
5	新湯治・ウェルネスツ ーリズム事業～「医療・美 容・健康」に特化した古 く新しい観光のかたち ～	デジタル 田園都市 国家構想 交付金(地 方創生推 進タイプ)	32,513,899円	指標①	観光消費額	86,555百万円	139,485百万円	90,017百万円	基本目標を 達成するた めに、相当 程度効果が あった。	◆ウェルネスの研究・実践拠点誘致、ウェルネス交流施設の整備事業 ウェルネスの研究・実践拠点について、R6.10に設置場所を決定、発表 するとともに基本計画の策定に着手し、目的達成に向けて前進すること が出来た。 ◆「医療・美容・健康」プログラム事業 別府市「みんなで健活ポイント」事業によって、参加者全体の平均歩数 は、全国平均値を上回り、特に女性及び65歳以上の年齢区分で有意 に歩数が増加した。各種健康教室を実施することで、フレイル予防の普 及啓発に努め、市民の健康増進に寄与した。 産後間もない母親に対して育児不安や疲労解消のためのリゾート産後 ケア事業においては、定員2倍の応募があった。利用者全員が満足 度について、「非常にいい」または「よい」と回答し、満足度が高かった。 また、市内の宿泊施設を知る機会となった。 ◆新湯治・ウェルネス別府発信事業 20代～30代に訴え得る別府の魅力を提案することが出来、また、強力 なオウンドメディアを活用することで、ターゲット層に広く情報発信を行う ことが出来た。	基本目標を 達成するた めに、相当 程度効果が あった。	・2019年末から比較すると、別府市のじゃらんネット掲載のルーム数は7 年で130%増で5,500→7,000ルーム。全国でトップレベルの地方温泉 都市になってきている。ただ、外から入ってきている旅館ホテルが多い 地域になってきており、旅館組合に入ってもらっているが、オーナーが いないという状況である。別府市が発展していくことはよいことだが、こ の辺の部分もしっかりと連携をとってほしい。また、別府に来ている お客様も本当に市内を回遊できているのかという、正直できてない と思う。ホテルによっては1軒で800ルームあり、全国の1つの温泉地より もルーム数が多い。その中だけでお客様の行動が完結し、下手したら 別府から次の地域へ行かれているような気もする。そういう部分も含め て、これからのツーリズム事業に取り組んでいかなければならない。	昨年度の取組を継続しつつ、各事業の向上を目指し取り組む。具体的には、 研究・実践拠点を誘致するため市場調査を行い、概算事業費や事業手法等を基本計画 として整理する。 引き続き民間企業とのコラボレーション企画として健康データを取得・分析し、結果を見 える化して健康プログラムを組成・実施する。また、健康プログラムに沿って市内全域で健 康教室・体操など地域通いの場を提供する。 リゾート産後ケア事業は「ウェルネス産後ケア事業」と事業名を変更し、1歳未満の子供を 持つ母親を対象に助産師のサポートを得て休息時間を提供し、母親自身の心身の健康 や育児、赤ちゃんの健康上の悩みの相談を受けつけ、育児不安の軽減を図る。(実施組 数も令和6年度より拡充する)また、宿泊施設内に産後ケア等を実施する部屋やスペース を整備する際の補助を行い、ウェルネス産後ケア事業に参画する宿泊施設を増やすこと で、観光客産婦の誘客及び受入数増につなげる。 新湯治・ウェルネスのブランディング、プロモーションを引き続き実施し、全国に継続して 発信することで、さらなる誘客につなげる。 新湯治・ウェルネス事業と連動した市内事業者の新たな価値創造を後押しし、事業者間 の競争力強化及び新湯治・ウェルネスの産業化による雇用の創出や経済活性化を図る。
				指標②	平均宿泊者数	1.09 日1人	1.106 日1人	1.11 日1人					
				指標④	別府市観光ウェブサイトアクセス数	1,111,807 PV	3,916,277 PV	1,323,580 PV					